

東京初の挑戦！セーフコミュニティ取組を宣言

～ 豊島区の地域全体が一致団結し究極の安全・安心を！ ～

本日、豊島区は地域で活動する皆さんと一体となって、世界保健機関（WHO）が推進する「セーフコミュニティ」への取組宣言を行なった。区政施行 80 周年となる 2012 年度の取得を目指し、2 年間取り組んでいく。

「セーフコミュニティ」は、WHO が推進している「予防」に重点を置きつつ、生活の「安全」と「健康」の質を高めていくまちづくり活動。区・警察・消防など行政だけでなく、地域活動を行なう方々の今までの活動や事業を活かしながら、より効果的な工夫や仕組みを取り入れていく。

本日は、「ALL 豊島」ともいうべき各種活動の中心になる地域団体の方々が 100 名集合し、「セーフコミュニティ推進協議会」の設置を確認。団結して WHO の認証取得を目指すことを宣言した。

「セーフコミュニティ」が想定する「予防」のターゲットは、事故・けがの予防、犯罪・暴力の防止、その他に自殺や孤独死などであるが、本区は重点政策に掲げる「がん」の予防も視野に入れていく。目指すのは、高密都市ならではの大都市モデルとなる「セーフコミュニティ」の姿である。

日 時	2 月 22 日（月曜日）午後 1 時 30 分から 2 時 15 分	
場 所	豊島区役所（東池袋 1-18-1）4 階 議員協議会室	
参加者の声 など	<p>本日の取組宣言では、区長を挨拶に続き、地域団体の皆さんからの意欲あふれる発言・意見をいただいた。高野之夫豊島区長は「豊島区のセーフコミュニティへの取組は、今まで取り組んできた都市づくりの集大成です。今日は、区内で様々な安全・安心活動をしている皆様にお集まりいただきました。皆さんと力を合わせ『住みやすい豊島区』を作り上げていきましょう！」と力強く語った。</p> <p>豊島区町会連合会会長の中村丈一（注）氏は「地域の安全・安心には『これ以上不要』ということはない。安全を実現するため、地域の方々と手を取りあって進めていければと思います」。巣鴨防犯協会会長の鈴木正美氏は「地域の安全のために、区長が先頭に立って取り組んでいくという強い姿勢に感動しました」等の発言が寄せられた。</p> <p>最後に、参加者全員でセーフコミュニティ取組宣言を読み上げた。（宣言文は別紙）</p> <p>注：中村丈一さんの「丈」には右上に点が付きます。</p>	
背 景 補 足 事 項	<p>* 「セーフコミュニティ」は世界で 179 の都市が認証を受けている。日本では、京都府亀岡市、青森県十和田市が認証を受けている。また、厚木市では平成 22 年度の認証を予定。本区の交流都市である長野県箕輪町も準備を進めている。</p> <p>* 本日設置が確認された「セーフコミュニティ推進協議会」は、今年 5 月に第一回協議会を開催する予定。</p>	
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	<p>区長から参加者への挨拶</p> 	<p>宣言文を読み上げました</p> 
問 合 せ	政策調整担当課長	